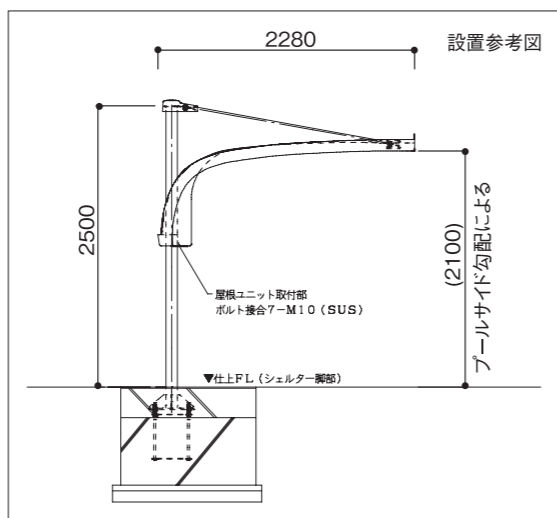


■プールサイドシェルター

曲線を活かしたスマートなデザインはそのままに、構造形式を「吊り屋根方式」にモデルチェンジ。
屋根材は、耐久性の高いFRP素材を継承。
新工法(VARTM:両面成形仕様)を採用し、屋根の汚れ付着を大幅に軽減することが出来ました。
屋根の形状を上面だけでなく側面にも伸ばすことで、長時間広い範囲で日影をつくり、プールサイドで見学する子供たちを強い日差しから守ります。



営業所のご案内 プールのことならお気軽に

ヤマハ発動機株式会社 プール事業推進部 TEL 053-594-6512 〒431-0302 静岡県湖西市新居町新居3078

東京営業所

販売課 TEL.03-3454-2434
〒108-0023 東京都港区芝浦3-5-39 田町イーストウィングビル3F
東北販売課 TEL.022-301-7102
〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台ビル3F
中部販売課 TEL.052-218-4366
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-17-26 ラウンドテラス伏見4F

西日本営業所

販売課 TEL.06-6268-0520
〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3-4-16 船場オーセンビル4F
九州販売課 TEL.092-472-7815
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-13-10 スピリッツ福岡D

www.yamaha-motor.co.jp/



swim 水夢

THE WATER POOL MAGAZINE [季刊誌・水夢] Vol.40

2013年10月発行

発行 ヤマハ発動機株式会社 プール事業推進部

swim 水夢

YAMAHA
Revs Your Heart

October 2013
Vol.40
www.yamaha-motor.co.jp/



GOOD DESIGN AWARD
2013年度受賞

「グランシーナ」は2013年 グッドデザイン賞を受賞しました

水中運動がもっと楽しくなる

グランシーナ設置施設特集

ダッシュスイミングスクール新潟(新潟県)
グラン・スポールあすと長町(宮城県)

CONTENTS

- 1 ダッシュスイミングスクール新潟(新潟県)
- 4 グラン・スポールあすと長町(宮城県)
- 7 グランシーナの開発
- 9 施設紹介 鈴鹿スイミングスクール

施設紹介 鈴鹿スイミングスクール(三重県)

夢をあきらめない プールを通じて人間力の向上



「ダッシュスイミングスクール新潟」を運営する株式会社ダッシュは、新潟県初の民間スポーツクラブとして1983年に設立され、現在県内に4施設を展開しています。

『健康と元気を発信することで地域社会に貢献する』を理念とし30年間地域と共に歩み続けています。今回、老朽化した施設を新しくするだけでなく得意分野である「水」(プール)をより活かすことができる新しい施設が完成しました。

「ダッシュは地域の皆さんに支えられて成長してきました。15年以上通っている会員数はおそらく全国でもトップクラスだと思います。

長く愛してくださる会員さんがいる限り地域に根差したクラブとして継続していく責任を強く感じています」(桑原専務)



全てのスポーツへ繋がるスイミング

少子高齢化の時代、単独型スイミングスクールから中高年も視野に入れた複合型スポーツクラブへ変換していく施設が多い中、敢えてスイミングスクールにこだわったのには理由があります。

「少子高齢化とはいえ、子供はいます。スイミングへの参加率を上げていくことが大切だと考えます。水泳は全身を使う運動で、全てのスポーツに繋がります。子供たちが将来サッカーや野球などをやっていくためにも効果的なんです。そこをもっとアピールし、各スイミングスクールが特色を出してクオリティを高めれば市場参加率を上げることは可能だと思っています」(桑原専務)



水泳を通して人間力を育てる

人と人のつながり、我慢・自信・思いやり・地域愛・感謝・感動は心の健康に欠かせないものです。

「7つの育」(協育・耐育・信育・想育・道育・愛育・優育)を指導のコンセプトにして水泳を通じて心身の健康を計り、子供たちの人間力向上にとりくまれています。

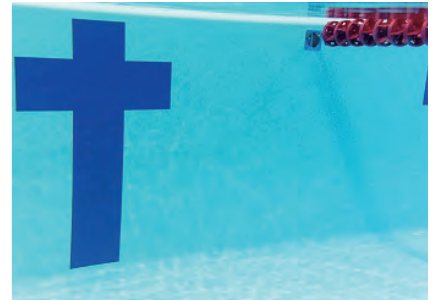
また、ダッシュでは完全個別担当制による「スモールステップ式」の指導が行われています。例えば3秒潜れたら次は5秒、3m泳げたら次は5mというように、ひとりひとりの子供に応じたきめ細かな対応をしています。このような指導方針が、保護者からも支持されています。

「ここ新潟の地で全国展開の大手クラブにはできないことを続けていきたい。そんなこだわりの運営理念を現場スタッフが理解して真摯に動いてくれることが、一番の力になっていると思います」(桑原専務)

ダッシュは、スクールやクラブの枠を超えて、地域コミュニティの中心になり、子供たちのカラダやココロの育成、おとなの方のいきがい創りに取り組んでいます。数々のスポーツイベントや文化イベントも開催してきました。

地元企業として、地域に貢献し共に発展して行く、そんな思いが強く伝わってきます。

「水」にこだわる施設が選んだヤマハグランシーナ



ダッシュの水は、溪流のように澄みきっている



床面に施されたノンスリップパターン

ダッシュは新潟校を含めて4か所の施設にプールを保有しています。1つがタイルのプール、2つがFRPのプール、もう1つがアルミのプールです。「衛生面などでFRPの材質の良さは感じていましたが、タイルに比べると外観のイメージが少し物足りなくて、以前からタイル調のFRPを要望していました」(桑原専務)

折しも、FRPの機能性(清潔感・メンテナンス性、衛生的)を持ちながら、タイルに勝るとも劣らない高級感のあるグランシーナが商品化されたのは新潟校の建て替えが決まった時でした。

「水を専門化するというコンセプトのもとで、まさに求めるプールとの出会いでした。価格も従来のFRPプールと比べてそれほど大きく変わりませんでしたし、迷わず決めました」(桑原専務)

中高年の水中運動とグランシーナの機能

平日の午前中、水中ウオーキングやアクアビクスなどの水中運動を行う中高年者でにぎわいます。これは「いきなり「水泳」ではなく、まずは水に入るのが大事」というダッシュの指導方針によるところでもあります。

改築前のプールでは水中歩行中に滑って股関節を痛める危険性もあり、滑らないように靴(アクアシューズ)を履いて水中運動を行っていました。グランシーナの床面は、ノンスリップパターンが施され初心者や高齢者が水中運動を行うのに最適なプール仕様(アクウォーク)になっています。

「裸足で安全に水中運動が行われるようになれば会員さんからたい

へん喜んでいただけます。運動発信基地として地域のコミュニティの場としてプールに来てほしいので、高齢者が怖がるプールではいけないし、床が滑るプールではいけないと思います。グランシーナは水中運動のための機能性、安全性、ビジュアルの3つが揃っています。滑らないプールのおかげでさらにいい運動プログラムが実践できるようになりそうです」(桑原専務)

2013年6月1日に新施設のグランドオープンを迎え、ダッシュが築き上げた30年間のノウハウとグランシーナの新機能の融合でさらに広がる水の可能性に桑原さんは期待を膨らませていました。



広々としたロビー



プール全体が見渡せる2F観覧室

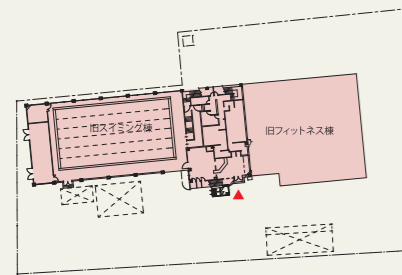


ロッカールーム

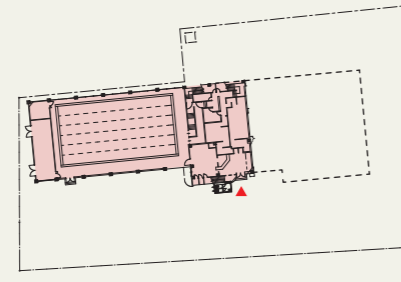
営業を続けながら新築リニューアルができた理由

工程表

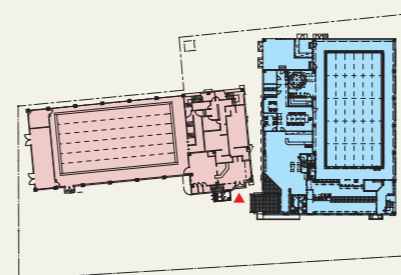
2011年7月 設計
 2012年8月 フィットネス閉鎖
 2012年9月 フィットネス解体
 2013年3月 新施設完成
 2013年4月 引っ越し
 2013年6月 グランドオープン



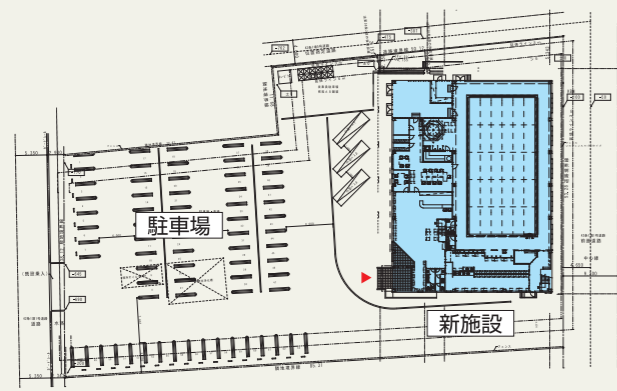
旧施設は、スイミングとフィットネスが併設されていた。



北側フィットネスを解体。スイミングは通常営業



フィットネスを解体した跡地に施設を建設。



最後に設備の切り替えを行い、旧施設を解体。駐車場を整備。完成



リニューアル／建て替えの難しさ

スイミングスクールの建て替えには多くの課題があります。最も重要な経営課題の一つは、休業期間をいかに短くするかということです。今回の建て替えは、敷地の形状を上手く利用して、フィットネス棟を解体した跡地に新プール棟を新築することで年間の運営スケジュールをほとんど変えずに解体、新築を実施することができました。

リニューアル成功の鍵は明確な経営理念

「水を中心とした施設に特化し、得意な分野で地域へのサービスをさらに充実させる」という明確な経営理念が、必要な機能をセレクトし同じ敷地内での、新築建て替えを可能としました。このような施設のリニューアルを成功させるには、設計や建設などの技術的なソリューションだけではなく、明確な経営理念が必要であるということを改めて考えさせられました。

まず始めてみる。身近なフィットネス。



新しい街づくりを担うスポーツ

「グラン・スポール」は1985年青葉区上杉に第一号店をオープンさせ、地元会員制スポーツクラブの先駆けとなりました。大手スポーツクラブチェーンが、次々と仙台に進出する中、地元資本の強みを生かして地域に根ざした運営を行い、スポーツクラブとしては宮城県内で最も長く営業を継続しています。その最新店舗が2013年2月にオープンした「グラン・スポールあすと長町」です。

長町は、仙台市中心部から南へ5km、仙台の新しい都市拠点として開発が進められています。グラン・スポールあすと長町は、大型商業施設の2階フロアに展開し、周辺には多目的スポーツドームや、フットサル場、テニスコートなどがあり仙台唯一のスポーツタウンとなっています。

新旧住民が世代を超えて交流できる場

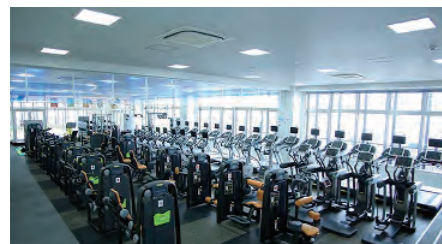
長町は古くからの住宅地に住む高齢者層と新しく開発された街に引越してきた若い世代が共存する街です。

「高級感がある新しいスポーツクラブのイメージですが、通っている人は地元の老若男女なのでフレンドリーでアットホームな雰囲気を大切にしています。プールを利用している仙台89ERS(仙台市をホームタウンとするプロバスケットチーム)の選手の隣で一般の中年女性が泳いでいたり、黒人選手と一緒にジャグジーに入っていたりちょっと不思議な光景も見られます。

昔から長町に住んでいるおいしいちゃんおばあちゃんと新興住宅に住む若い世代、またトップ選手と一般のお客さんが自然に交流できる場になればと思っています」(佐々木専務)



スポーツを提供するというプロ意識



最新のマシンが並ぶジム



明るく開放感のあるスタジオ



ゴルフ練習場(9打席)



キッズロッカールーム



プール観覧席とキッズルーム

| 地元根ざした広々とした総合スポーツクラブ

総面積1000坪のワンフロアにマシン、スタジオ、プール、ゴルフ練習場、アメニティのすべてが集約されています。

「最新マシンを完備したアスレチックジムでトレーニングをし、スタジオでエアロピクスやヨガ、ダンスもできる、さらに水泳やゴルフもできるというように総合フィットネスクラブとしていろいろな運動を提供しています。プログラムも無料で受けられるものから本格的に取り組むための有料のものまでニーズに応じた選択が可能になっています」(佐々木専務)

新しい街の新しいフィットネス拠点として多くの運動種目を網羅できるハードとソフトを提供しています。

| スタッフの9割が社員、質のいい人材こそが要!

「うちはスタッフの質やスキルの良さが何よりの強みです。スタッフの9割が社員で、質のいい指導を行い、スポーツを提供するというプロ意識を大事にしています。そこが地元で根付いていく原点ですね。お客さんにとって「会いたいスタッフがいる」「顔なじみのスタッフがいる」というのは大事なことです。10年、20年後にまたクラブに戻ってきたときに顔なじみのスタッフがいるというのはなかなかないことだと思います」(佐々木専務)

「グラン・スポール」は、「より多くの人々が明るく元気に充実した人生を送ることができるように、健康作り・体力作りの場を創造すること」を理念としています。

ここではアットホームな雰囲気とスタッフのプロ意識の融合が、根強いファンを生み出し親子・孫と世代を越えて長く利用される理由になっています。

| 生涯スポーツの入り口としてのスイミング

プール室は、全面ガラス張りの開放感溢れる空間で、穏やかで明るい雰囲気が漂っています。ガラス越しのキッズスペースは遊び心が取り入れられたインテリアで、スクールらしくない雰囲気が創られています。

「遊ばせる空間をイメージして創ってみたいですね。だから思いっきり遊んでください、走ってくださいという感じです。大人も子供も、ファーストステップとして、きれいに楽しく泳ぐというのを目標にしています。ガンガン泳ぐというよりもどちらかというと生涯スポーツの入り口として楽しく泳いでもらうことを重視しています」(佐々木専務)



みんなが安心できるプール

| グランシーナの高級感

「最初はタイルのプールにこだわっていましたが。従来のFRPは学校プールのイメージがあって見栄えがどうかと心配でしたからサンプルを水に沈めてみたりしました。床のグリッドが見えて従来のFRPプールにはない高級感があり、コスト的にも問題がなかったため導入を決めました」(佐々木専務)

実際にガラス張りの開放感あふれる空間に白いタイル調のグランシーナが美しく調和し「実際のスペース(4コース)以上に広々と見える」と利用者からも賞賛の声が上がっています。別店舗から長町のプールにわざわざ通って来る会員もいるとか。

見学に来てプールに一目惚れして入会する人も多く、オープン半年を待たずに会員数は2400人を超えたそうです。(2013年4月現在)

| 安全性の向上とランニングコストの低減

「以前のタイルのプールでは剥がれや、欠けが発生して危険という問題がありましたが、グランシーナはその心配がありません」

スタッフからは「タイルのように目地から砂が出てこないので掃除がしやすい」との声があり、衛生的で維持管理のしやすさも好評だそうです。

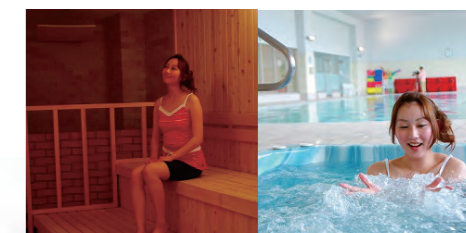
さらにコンクリートのタイルプールに比べて水温が下がりにくく、暖まるのも早く、会員の方から喜ばれています。

| 水中運動に適したプール

水泳だけではなく水中歩行や水中運動をする人にとって床面が滑らないことは、体への負担が低減でき、安全に効率的な運動をすることができます。水泳初心者やハンディキャップのある人、足腰の弱い高齢者にとっても、安全で安心できるプールです。

「プールの深さは1.1mで、小柄な女性でも水面が胸のあたりにくる程度です。水泳だけではなく、歩いたりアクアピクスをする人にとってはこの水深がちょうどいいのです。プールサイドに腰を掛けてキックをする練習も、デッキがフラットで滑らない作りになっているため安定した姿勢で行えます」(佐々木専務)

「グラン・スポール」がスイムレッスンで重視しているのは、手取り足取りのいいねいな指導で参加者に美しいフォームを身につけてもらうこと。それにはインストラクターの足元が滑るようでは正しい補助ができません。床面が滑らないグランシーナのおかげで、補助しながらの指導が以前よりも断然しやすくなったとコーチたちもたいへん喜んでます。



半澤プールチーフ

江澤マネージャー

タイルプールを凌駕する質感のあるFRPプールの開発 ヤマハFRPフラットプール「グランシーナ」



1 質感へのこだわり

今まで民間のフィットネスプールは、お客様へのサービス向上を目的に、質感のあるタイルプールが多く採用されていました。

今回のプロジェクトでは、FRPプールでありながらタイルプールを越える質感の創造を求め、徹底した市場調査を行い、開発を進めてまいりました。

ポイント1 表面色による質感向上の追求

プールといえば、デッキがアイボリー、プール内がブルーのいわゆる屋外でよく見かける学校プールの色を連想されると思います。今回システムキッチンでは既に普及している人工大理石に着目し、室内照明に調和する石目調表面色を追求しました。

- 高級キッチンの製造販売を行っている、関連会社の技術協力により、高い質感の石目調ゲルコートを開発。
- プールでは初めての4層構造石目調吹付けにより、奥行きのある高級感溢れる外観を実現。
- 色合いは、室内空間を明るく清潔に印象付ける白系の御影石をイメージしたものを設定。
- FRPプールの特徴である高いメンテナンス性も継承。



ポイント2 デザイン性に優れたデッキ部形状による質感向上の追求

デッキ部の形状は、学校で行う水泳教育を重視した形状から、大人がくつろげる質感のある機能を重視したデザインとしました。

- デッキ部デザインは、これらの機能を満足させながら、従来にない凹凸の大きなブロックパターンを採用。床アクウォークパターンと合わせた、シンプルかつ存在感のあるデザインを実現。
- 石目調とあわせる事で、更に質感の向上を図る。

GOOD DESIGN AWARD 2013年度受賞 「グランシーナ」は2013年 グッドデザイン賞を受賞しました

2 機能へのこだわり

従来のプールは、「泳ぐ」ことを第一の目的に設計・施工されてきました。近年フィットネスクラブでは、水中歩行やアクアビクスなどプールの利用方法が多様化しています。現代のプール利用状況を考えたとき、これまでとは異なる「水中運動」に重点を置いたアプローチで考え出されたのが、ヤマハグランシーナです。

- プール水深は、水中運動に最適な1.1mのフラット水深を採用
- プール底面には、水中歩行や水中運動、泳法指導にもしっかり足元をホールドする新型スリップレスパターンの『アクウォーク』を開発、採用。
- 使用環境を室内プールに設定、表層の汚れを効率よく除去すると共に、アクアビクスで起こる波をすっきり吸収する全周オーバーフロー方式を採用。
(OF容量に関しては、当社従来比160%)

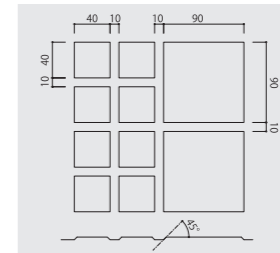


スリップレスフロア『アクウォーク』

滑りにくい

歩き易い

美しい
デザイン



- スリップレスパターンだけではなく、ブロックパターン形状と組み合わせる事で、滑りにくいフロアを実現。
- ブロックパターンが指先にしっかりかかる事で歩行時に足にかかる負担を軽減。
- 足に負担が少ない、フィット感のあるブロックパターンを実現する為、ブロックの外周を45度に設定。
- 型製作時には、素手で仕上げ状態を確認、細心のチェックを実施。
- 規則性のある凹凸ブロックパターンが、照明により浮き上がり、高級感を演出。

3 生産性への挑戦

プールでは初めての4層構造吹付けを実現するために超えなければならぬ、いくつものハードルがありました。

全長5mを超える型へ、薄膜多層吹き付け

プールは複数のFRPサイドユニットとフロアユニットを、現地で接合して完成します。そのFRPサイドユニットは、1ユニット全長5m×高さ1.1m×奥行き0.5mと大きく、デッキ部は複雑な形状をしています。この大きく複雑なFRPサイドユニットの型表面に、薄膜4層吹き付けを行うのですが、均等に吹き付けないと不具合が発生します。今回のプロジェクトでは、薄膜で4層吹き付けする製造技術の確立がポイントとなりました。

- 多層吹き付けに伴い、新しい吹き付け設備の導入
専用設備がない為、吹き付けノズルの詰まりやタンク清掃性など設備課題を一つずつ試行錯誤しながら解決、生産性の向上を図りました。
- 薄膜4層吹き付けを実現する、巧みの技術を持つ職人
専任の吹き付け熟練者が、幾度となく吹き付けトライを行い、薄膜均等吹き付け技術の向上を図りました。

人そして設備の両方が、品質目標レベルまで達成できたこと事で製品化を実現することが出来ました。



大田さん (生産グループ) 増田さん (技術グループ) 松本さん (生産グループ) 辻村さん (品質保証グループ) 紅林さん (生産グループ) 芦田さん (技術グループ) 堤さん (生産グループ)

スイミングスクールの建て替え最新事例

鈴鹿スイミングスクール 三重県鈴鹿市平田東町8番25号

昭和54年に開校した鈴鹿スイミングスクールは、35年にわたり地域の多くの子供たちと共に歩んできました。しかしながら、施設やプールを含めた設備の老朽化が進みメンテナンスや補修に掛かる費用も年々大きくなっていました。平成24年1月に建て替えが決定され、平成25年7月に新しい鈴鹿校がオープンしました。

「鈴鹿市は本田技研鈴鹿工場や、旭化成など大きな企業が立地する子供のいるファミリーも多い地域です。私たちは35年にわたって地域と共に子供たちを育ててきた地元密着の企業ならではの強みがあります。新しいプールもオープンして間もないですが、8月には、ほぼ目標会員数を達成の予定です」(堀田常務)

子供たちの安全と使いやすさを両立する理想の施設

エントランス右側の、フロントの受付からは、まっすぐな広い通路を通して奥の体操場まで見渡すことができます。

子供たちが、その両側の更衣室やトイレに出入りする様子が受付からよくわかり、観覧室のガラス面を通してプールの様子も確認できます。

「明快な動線で、スタッフから子供たちがよく見えるように配慮しました。観覧席も25mプール全てが見渡せるので保護者から子供たちの様子がよくわかります。同時に、スタッフも良い緊張感を持って子供たちに対応できますね。建物内だけでなく、バスの運転手からも、子供たちの動きがよく見えるようにして子供たちの安全に細心の注意を払っています」(堀田常務)



ロビーの情報コーナー



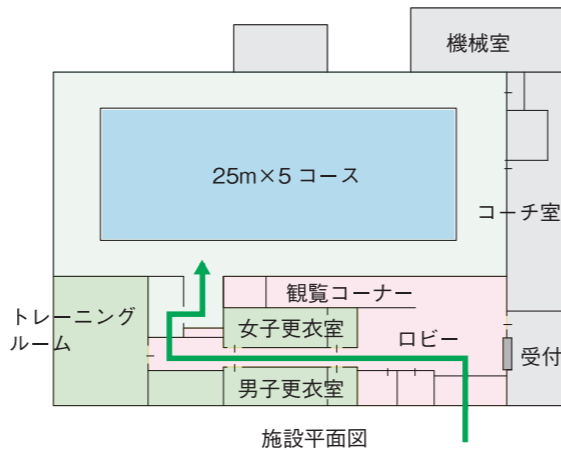
観覧席



廊下に面したトイレや更衣室



体操場



スタッフのみなさん

マナーや協調性も学べるスクール

「水に親しみ、水泳をして良かったと思えるレッスンプログラムが基本です。そして、多くの友達と学ぶスクールですから、マナーをきちっと教えるようにしています。バスの中ではどうする、下足箱の使いかた、あいさつなど、テーマを決めて紙芝居をつくり子供たちにわかりやすく説明します。私自身も子供の時、スポーツを通していろいろなことを教わってきました。そこで身に付いたことは今も大切に思っています」(堀田常務)

確かに子供たちは、バスに乗ったり、水着に着替えたり、身体を乾かしたり、いろいろなことをしなければなりません。譲り合う気持ちや協調性を身に付けるともよい場だといえます。鈴鹿スイミングでは、それをより具体的にレッスンとして取り入れ子供たちの社会性も育てています。



自然光を多く取り入れたプール室は、気持ちのいい開放感に溢れています。

観覧席側のガラス面は、ビルトインの大きな空調吹き出しが設置され、くもりや結露の心配がありません。空調や、メンテナンス、施設の使いやすさなど、長年の運営経験が活かされた施設になっています。

地元の海も知ってほしい！ 臨海学校



鈴鹿スイミングスクールでは、毎年、地元の千代崎海岸で臨海学校を開催しています。愛知ライフセービングクラブの協力の元、子供たちに、海の楽しさや、危険性を学んでもらい、生涯水と親しめる人材育成を目指しています。

「子供たちには、プールだけではなく地元の海も知ってほしいと思っています。実際に器具を使って体験することで、ライフセービングの仕事もよくわかるし、海の危険も知ることができます。みんなで一緒に砂浜を清掃したり、自然を大切にする気持ちも、生まれてきますね」(堀田常務)

同じ敷地での建て替えとなるため、工事期間は、系列の亀山スイミングヘシヤトルバスを運行しスクールを継続することで、敷地移転による商圏の変化や、休業期間の会員流出などの建て替リスクが回避されました。

プールは、今回ヤマハのFRPプールが採用され、メンテナンスも楽になり、以前のアルミプールのような電蝕の心配もなくなったとのことです。

